知れば知るほど 軽自動車 いいね!

1949年に規格が制定されて以来、モータリゼーションの牽引役として、
またセカンドカーとしてひろく普及してきた軽自動車。
あなたは、どんなイメージをもっていますか?
「狭い道でもラク」「経済的」「運転しやすそう」…
そうなんです。軽自動車はコンパクトで、
省資源・省エネルギーといった特性があふれているのです。
また、衝突安全基準も普通・小型自動車と同じになりました。
環境面においても重要な役割を果たす軽自動車、
いまやクルマ社会の発展に大いに貢献しています。

社団法人 全国軽自動車協会連合会

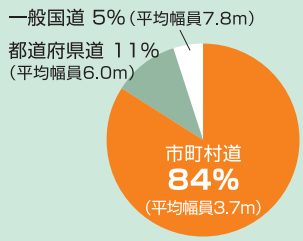
「乗るなら、軽自動車」
選ばれているのは、なぜでしょう?

使いやすいから

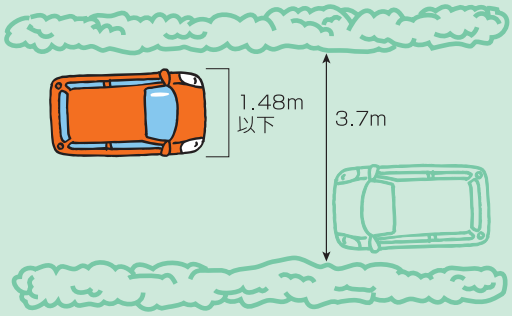
コンパクトで、狭い道もらくらく。

日本の道路の約84%は、市町村道。その道幅は平均3.7mという狭さです。軽自動車の車幅は1.48m以下と小さいので、市街地の路地や農道もスムーズ。対向車とのすれ違いだって安心です。

◆日本の一般道路の割合



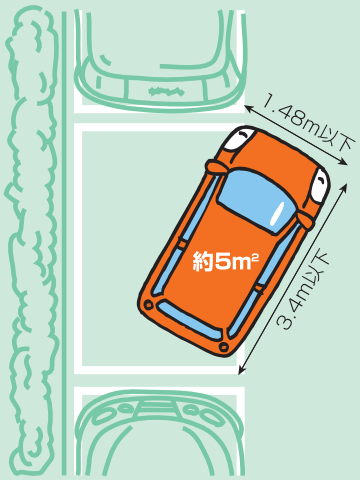
※資料：平成17年4月1日現在、「道路交通経済要覧 平成18年度版」道路交通経済研究会



省スペースで、縦列駐車もカンタン。

軽自動車の最小回転半径は、平均4.4m※。小回りがきいて、わずかなスペースでも駐車しやすいうれしさです。約5m²の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

※「自動車ガイドブック vol.52 2005～2006」（社）日本自動車工業会のカタログに掲載された軽乗用車の平均値



◆使いやすさからの選択理由

（複数回答）	狭い道で使いやすい	運転がしやすい	駐停車がしやすい
軽乗用系	61%	56%	48%
軽キャブバン	67%	32%	30%
軽トラック	72%	29%	17%

※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会

経済的だから

価格、税金、燃費、すべてにうれしい。

◆経済性からの選択理由

（複数回答）	税金が安い	価格が安い	燃費が良い
軽乗用系	86%	49%	53%
軽キャブバン	82%	61%	35%
軽トラック	66%	61%	41%

※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会

軽自動車はこうした特性を活かすことで、地方の足として、そして毎日の生活に、環境に応えています。

地方で活躍しています

生活に密着しています

環境を考えています

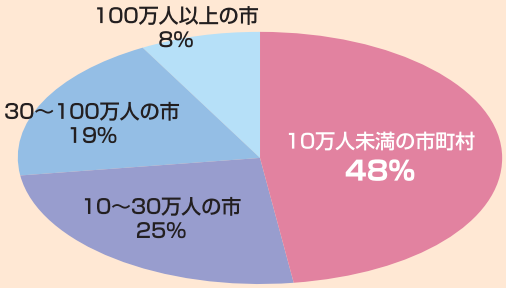
地方で活躍しています

公共の交通機関の代替手段として。大切な「日常生活の足」となっています。

軽自動車は、人口10万人未満の市町村で約半数が保有されています。
こうした地域では、多くの軽自動車ユーザーが周辺の公共交通機関に不便を感じています。
実際、軽自動車の普及率の高い県では鉄道営業キロ数が短く、
軽自動車が公共交通機関の代替手段として欠かせない存在となっています。

都市規模別の軽自動車保有台数構成比

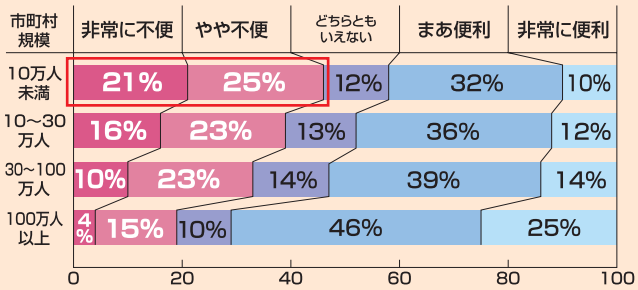
10万人未満の市町村で **約半数** が保有されている



※資料：保有台数は平成19年3月末現在、「市区町村別軽自動車車両数」(社)全国軽自動車協会連合会
人口は平成19年3月末現在、「住民基本台帳に基づく人口」総務省

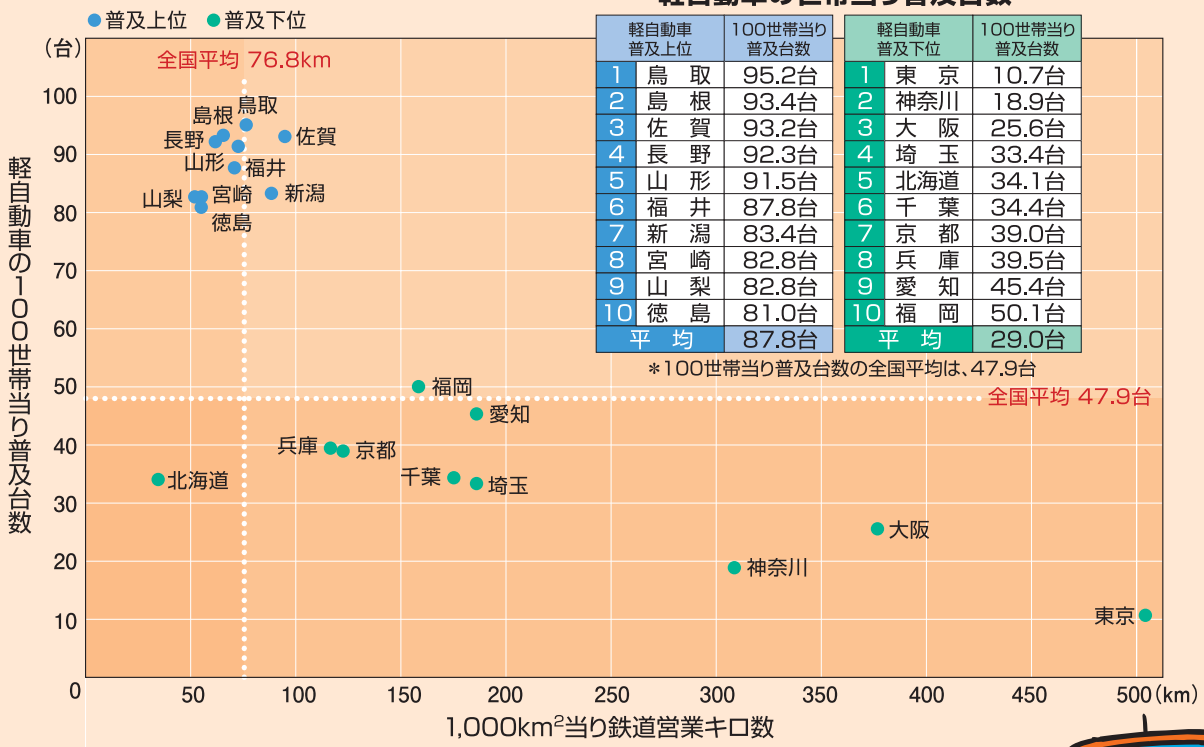
周辺の鉄道の利便性（軽自動車ユーザー）

10万人未満の市町村で **約半数** が不便だと感じている



※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月 (社)日本自動車工業会

軽自動車の世帯当り普及台数と鉄道営業キロ数の相関



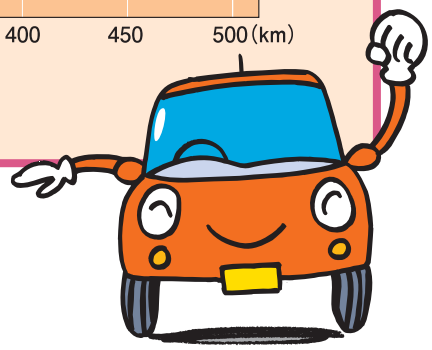
軽自動車の世帯当り普及台数

軽自動車普及上位		100世帯当り普及台数
1	鳥　取	95.2台
2	島　根	93.4台
3	佐　賀	93.2台
4	長　野	92.3台
5	山　形	91.5台
6	福　井	87.8台
7	新　潟	83.4台
8	宮　崎	82.8台
9	山　梨	82.8台
10	徳　島	81.0台
平　均		87.8台

軽自動車普及下位		100世帯当り普及台数
1	東　京	10.7台
2	神奈川	18.9台
3	大　阪	25.6台
4	埼　玉	33.4台
5	北海道	34.1台
6	千　葉	34.4台
7	京　都	39.0台
8	兵　庫	39.5台
9	愛　知	45.4台
10	福　岡	50.1台
平　均		29.0台

＊100世帯当り普及台数の全国平均は、47.9台

※資料：100世帯当り普及台数は平成19年3月末現在、(社)全国軽自動車協会連合会調べ
1,000km²当り鉄道営業キロ数は平成17年3月31日現在、地方運輸局調べ
都道府県総面積は平成17年10月1日現在、国土地理院調べ



生活に密着しています

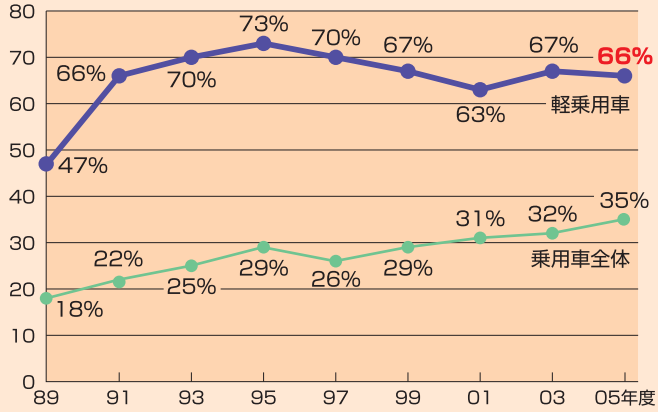
女性や高齢者にとって頼れる乗り物。毎日の暮らしや仕事を支えています。

女性に高い人気

軽乗用車ユーザーの3人に2人は女性で、乗用車全体に比べて圧倒的に高くなっています。
しかも、女性ユーザーの実に80%以上が既婚女性です。
また既婚女性の就業率が高い県ほど普及していることから、軽自動車は地方で働く女性にとって不可欠な移動手段と言えましょう。

女性ユーザー比率の推移

軽乗用系ユーザーのうち**66%**が**女性**



※資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会
乗用車全体は「平成17年度 乗用車市場動向調査」（社）日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

軽自動車の普及と既婚女性の就業率

軽普及上位10県の**既婚女性就業率**平均は**57.3%**

※既婚女性就業率の全国平均は、47.9%

軽自動車普及上位		既婚女性就業率
1	鳥　取	59.2%
2	島　根	58.4%
3	佐　賀	56.3%
4	長　野	57.7%
5	山　形	61.2%
6	福　井	61.9%
7	新　潟	58.0%
8	宮　崎	53.8%
9	山　梨	54.8%
10	徳　島	51.5%
平　均		57.3%

軽自動車普及下位		既婚女性就業率
1	東　京	43.3%
2	神奈川	42.1%
3	大　阪	40.0%
4	埼　玉	45.6%
5	北海道	43.2%
6	千　葉	44.5%
7	京　都	45.9%
8	兵　庫	42.4%
9	愛　知	50.2%
10	福　岡	45.4%
平　均		44.0%

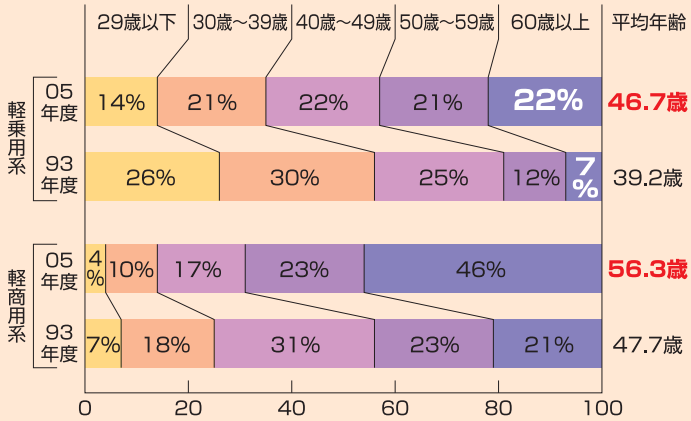
※資料：100世帯当り普及台数は平成19年3月末現在、（社）全国軽自動車協会連合会調べ
既婚女性就業率は「平成17年 国勢調査」総務省

高齢者にも役立つ

高齢化社会が進むなか、軽自動車ユーザーの高齢者比率も年々増加しています。
とくに軽自動車が普及している地域では、65歳以上の方のいる世帯比率が40%以上も。
高齢者にとってコンパクトで運転しやすい軽自動車の必要性は、ますます高まっています。

軽自動車ユーザーの年齢

軽乗用系ユーザーのうち**60歳以上の占める割合は3倍以上増加**



※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会

軽自動車の普及と高齢者のいる世帯比率

軽普及上位10県の**65歳以上世帯比率**平均は**44.5%**

※65歳以上世帯比率の全国平均は、34.7%

軽自動車普及上位		65歳以上世帯比率
1	鳥　取	45.2%
2	島　根	49.3%
3	佐　賀	44.3%
4	長　野	43.6%
5	山　形	51.5%
6	福　井	44.6%
7	新　潟	45.8%
8	宮　崎	39.3%
9	山　梨	40.1%
10	徳　島	42.5%
平　均		44.5%

軽自動車普及下位		65歳以上世帯比率
1	東　京	27.4%
2	神奈川	28.0%
3	大　阪	31.3%
4	埼　玉	29.8%
5	北海道	33.3%
6	千　葉	30.8%
7	京　都	33.4%
8	兵　庫	35.3%
9	愛　知	30.7%
10	福　岡	33.2%
平　均		30.5%

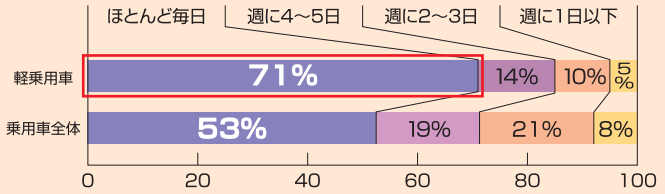
※資料：100世帯当り普及台数は平成19年3月末現在、（社）全国軽自動車協会連合会調べ
65歳以上世帯比率は「平成17年 国勢調査」総務省

毎日手軽に利用

軽乗用車ユーザーの多くは、ほとんど毎日、「買物・送迎」「通勤・通学」を主な用途として利用しています。
また軽自動車を保有している世帯では、その78%が他にもクルマを持っています。
その車種は普通・小型乗用車が多く、軽自動車はセカンドカーとしての役割に応え、手軽に使われています。

軽乗用車ユーザーの使用頻度

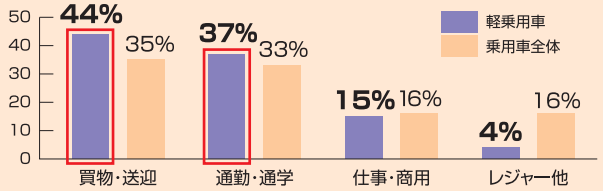
71% のユーザーが **ほとんど毎日**使用



※資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会
乗用車全体は「平成17年度 乗用車市場動向調査」(社)日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

軽乗用車ユーザーの主な用途

81% のユーザーが **「買物・送迎」「通勤・通学」**に使用

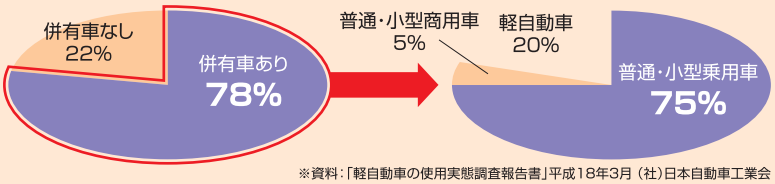


※資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会
乗用車全体は「平成17年度 乗用車市場動向調査」(社)日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

軽乗用系保有世帯での併有率とその車種

78% の世帯が**他にもクルマ**を保有

そのうち **75%** は**普通・小型乗用車**



※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会

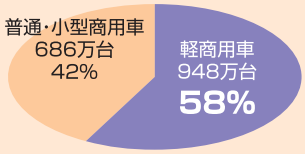
仕事に頼もしい

商用車の総保有台数の大半を占める軽商用車は、個人商店や町工場、農家などで幅広く活躍しています。
その用途は「小口配送」「工場などへの足」「農作業」など、近距離での使用がほとんど。
また行動半径や月間走行距離を見ても、軽自動車は近距離でのフットワークのよさを発揮しており、仕事や商売の必需品として欠かせません。

軽商用車と普通・小型商用車の保有比率

全商用車のうち

58% が**軽自動車**



※資料：平成19年3月末現在、「自動車保有車両数」(財)自動車検査登録情報協会

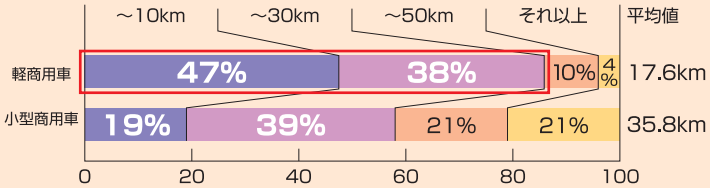
軽商用系の主な用途

（複数回答）	小口配送	工場等への足	営業活動	田畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	35%	28%	22%	16%
軽トラック	16%	19%	5%	61%

※資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」平成18年3月（社）日本自動車工業会

行動半径比較

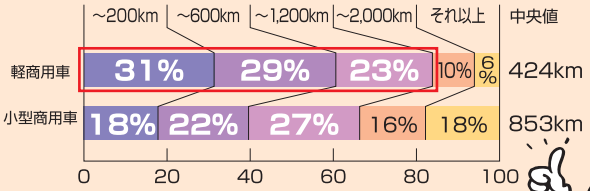
軽商用車ユーザーの **85%** が**半径30km以内**で行動



※資料：「平成18年度 小型・軽トラック市場動向調査」平成19年3月（社）日本自動車工業会

月間走行距離比較

軽商用車ユーザーの **83%** は**月間走行距離**が **1,200km以内**



※資料：「平成18年度 小型・軽トラック市場動向調査」平成19年3月（社）日本自動車工業会

環境を考えています

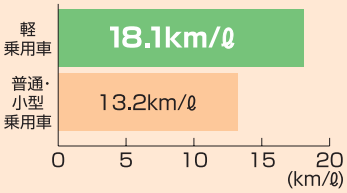
やさしさは乗る人にも、環境にも。省資源・省エネルギーで貢献しています。

環境思い

660ccの小さな排気量で燃費がよく、
しかも少ない原材料で車両重量も軽い軽自動車。
省資源・省エネルギーで、環境への思いやりにあふれています。

平均燃費比較（AT車）

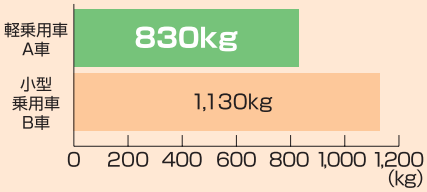
軽乗用車の**平均燃費**は
1ℓあたり
18.1km



※資料：ガソリン乗用車「自動車燃費一覧 平成19年3月」国土交通省

車両重量比較

軽乗用車の**重量**は
小型乗用車の
約70%



※車両重量は軽乗用車と小型乗用車の代表的な車種による比較

道路にもやさしく

車両重量が軽い軽自動車は、
道路への負荷や損傷を
極めて小さくします。

道路損傷度比較

軽乗用車の**道路損傷度**は
小型乗用車の
約1/3

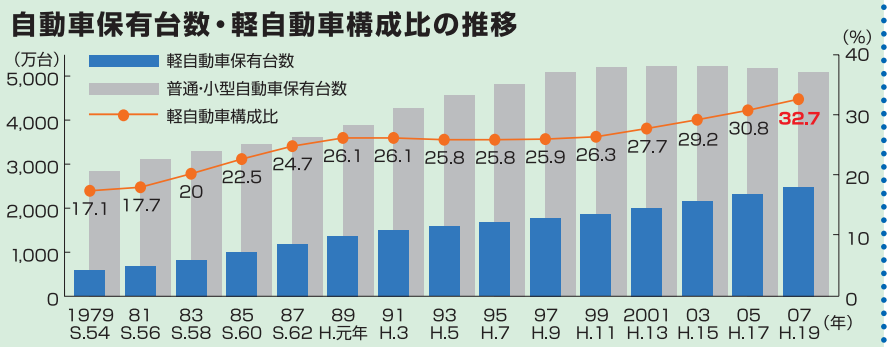
	軽乗用車 A車	小型乗用車 B車
車両重量	830kg	1,130kg
重量比	1	1.4
道路損傷度	1	3.4

※車両重量は軽乗用車と小型乗用車の代表的な車種による比較
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する(「舗装設計施工指針」(社)日本道路協会)

軽自動車は、これからもクルマ社会の未来を担っていきます。

現在、保有台数が2,500万台を超えた軽自動車。自動車の総保有台数に占める割合は、いまや3割を超えるまでに増加しています。
日本のクルマ社会のなかで、軽自動車は人に、暮らしに、環境に、ますます重要な役割を果たしていきます。

自動車保有台数・軽自動車構成比の推移



※資料：各年3月末現在、「自動車保有車両数」(財)自動車検査登録情報協会

【参考】＊本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。
・軽乗用系：軽乗用車、軽ボンネットバン
・軽商用系：軽キャブバン、軽キャブワゴン、軽トラック

編集・発行
社団法人 全国軽自動車協会連合会
スズキ株式会社・ダイハツ工業株式会社・日産自動車株式会社・富士重工業株式会社・
本田技研工業株式会社・マツダ株式会社・三菱自動車工業株式会社

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 大豆インキ+アロマフリータイプで印刷されています。